

# 社会教育委員の皆さんを紹介します

## 白杵市 社会教育委員だより 第一号

今年度の白杵市社会教育委員の活動が始まりました。今年度も13名が選出、今月から2年間の任期で活動していただきます。よろしくお願ひします。

委員の皆さんに日頃の活動などのお話をお伺いしました。(五十音順、氏名敬称略)



### 【石井 一明】

①定年退職後、神奈川より当地に引き揚げ13年。区長、民生委員児童委員として新旧住民との交わりを深めることを目指しつつ、これからは住民の方々と語りあって、肩ひじ張らずに生涯学習のテーマを探していこうと思っています。

②末広川・熊崎川合流点周辺に広がる干潟。特に白杵大橋から河口に向けての眺望。(干潟の先に白杵湾と津久見島を望み、当地の穏やかな風土に良く溶け込んでいっていると思います。)

③地域文化に根差した豊かな方言、食文化、濃密な人間関係。

### 【石井 哲也】

①一昨年まではPTAから委員として参加させていただきましたが、今回は地域からという事でお受けさせて頂きました。

地域と社会教育の関わりについて学んでいきたいと思ひます。

宜しくお願ひ致します。

②泊ヶ内地区(清水地区?)の高台から見る白杵湾(夕陽が、海面に反射した景色が美しい)

③ことばと繋がり

- ①自己紹介
- ②私がおススメする白杵のいいところとその理由
- ③AIに真似できない人間の良さとは?

### 【後藤 徳一】

①市内中学校長会の代表として、社会教育委員の一員になりました。教育という仕事に関わっている立場から、社会教育の発展に繋がる意見を述べていければと考えています。よろしくお願ひいたします。

②二王座、旧真光寺前の「切り通し」、その周辺の飲食店(趣があり、食事も美味しく、遠方の友人が訪ねてくれば案内しています)

③コミュニティの場をつくること

### 【小林 一彦】

①津久見・白杵の小中学校勤務、退職後白杵市の協育コーディネーターとして、勤務三年目。白杵市洲崎に住んでいます。社会教育委員は初めての経験ですので、学んでいきたいと思ひます。

### 【齋藤 理亜】

①白杵市子連(白杵市子ども会育成会連絡協議会)所属の齋藤です。子供会を含む地域交流会を運営中に2017年に市子連理事となり、社会教育委員は3期目となります。

子供会がない地域で、学校や職場以外の交流、地域の関わりや昔の子供会の体験を望む声や子供を介して集まり、2013年「地域交流会つなごうえ」を創設。「地域で顔が見える関係を大切にしよう」とを基本理念に、子育て世代が中心となり地域の方や学校とも連携し、自然体験や様々な企画イベントを通じて地域の交流と学びや相談の場として活動してきました。

2017年市子連加入にて、従来とは違う特色を持つ市子連の単位子ども会「白杵市子連地域交流会つなごうえ育成会」となり、市子連の共済制度利用や行政との連携でさらに活動が充実し、このたび創設10周年を機に子供会の代表の任を小学生のいるご家庭へと次世代継承が叶いました。

活動の中で、地域の力を再発見するとともに、必要なものが変化に対応できず衰退する危機感もあり、慣例と現状の乖離や負担になる要

素の見直しやよい要素を育む工夫など関連組織の再構築、声をあげられない人も含めた相互理解の対話の必要性を感じます。

よい距離で寄り添い支え合える信頼関係やお互いの笑顔でつながる安心感が続くふるさどであることを社会教育に期待しています。

②◇フンドーキン株式会社(白杵市の代表的な企業であり、世界一大きな醸造木樽などの特色があるため)◇縄文ファーム(耕作放棄地を開拓し、子供会の田植え稲刈り体験やハサガケなど実施などしているため)

③現段階のAIでは、表出されにくい要素は対象にされないと思われま。AIが手続きなど何らかの能動的なアクションや受動的でも意図された設定での反応などにより意見やデータとして扱われたものだけ局所的に機能する点に対し、人間の場合、個人差はありますが、あれ?といったような人間らしきとも言える感情や感覚的な気付きによつて、表出されにくい要素にも対応できる可能性が高いと思われま。

集団意識など、公と私、本音と建前、慣例や同調圧力または多忙や心理的その他の個人的な背景などの様々な理由で表出されにくいものの中には、看過できない問題が生じていたり、解決や改善につながる意見や要素が見過ごされることあります。

そういった潜在的な課題やニーズをくみ取るには、日々の生活の現場から切り離された視点からは難しいと思われ、共に同じ感覚を体験し理解し共に変化し得る関係性の中でこそ可能ではないかと考えま。

人間の視点の場合、もちろん多様性や個人差があり絶対的なものではない点から、個々を踏まえた地域住民の幸せという目的において過不足なく客観的に審議し調整する事が必要で、社会教育課や社会教育委員を含めた人的リソースの役割は大きいと思われま。

# 社会教育委員の皆さんを紹介します

## 【祖父江 美幸】

①乳幼児とその保護者が自由に集う”子育てひろば”で支援員をしています。

私が働く”よいこのへや”は、白杵市から白津地域シルバー人材センターが子育て支援事業の委託を受けて運営しており、大半が60〜80代のスタッフです。子や親の育ちを社会全体で支え合い、喜ぶことができる”地域共生社会”を目指し、一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つことができるよう、日々丁寧に寄り添う”伴走支援”を心がけています。

私自身も3児の母であり、人生の根っこを育む乳幼児期の子ども達・その保護者と直接関わる者だからこそ、社会教育を学び、広げ繋げることに大きな意味があるのではないかと感じています。社会教育委員としてこれから更に学びを深め、日々の活動に生かせるよう尽力したいと思えます。

②(おすすめる世代による)白杵石仏、二王座歴史の道、風連鍾乳洞、久保ん谷湧水、ひやくすた、深江地引網(他にはない白杵らしさを感じられるから)

③人と人が繋がり、エネルギーを授受して他に生かす力。



## 【高野 雄一】

①海辺小学校の校長です。委員は2年目になります。よろしくお願ひします。

## ③ 思いやり

## 【長野 裕二】

①職責は野津地区振興協議会事務局専従。当協議会は2020年9月、白杵市最後18番目に設立された地域振興協議会で3年目の現在、市の交付金を活用してのイベントなどに頼りながら模索を続けています。

- ①自己紹介  
②私がおススメする白杵のいいところとその理由  
③AIに真似できない人間の良さとは？

「これまで同様」、「昨年に倣い」という活動実態の少ない中、他の先進振興協議会の活動状況を範として今後進めていく拠点施設を想像しながら、未来に向け相互扶助と自立をめざし、常に野津地区自治会との一体協働を基本に29単位数780戸の皆様の意見が反映され利便や楽しみが共有されるよう、ゆつくりと少しずつでも活動の姿が見えるような一年でありたいと考えています。

②白杵市観光協会が選定した『野津町の祈りの回廊』(キリシタン遺跡のほか、禅寺で紅葉鮮やかな普現禅寺やキリシタン転向改宗寺として名のあつた仁寺など、見どころ聴きどころ、祈りどころいっぱい我が町。)

③地球の気候変動やその日の天気、10日間の予想気温などは数多のデータを駆使して的確に予測するでしょうが、日々の営みにある移ろいや人の感性は演算や電子化はできない。

## 【廣瀬 和代】

①吉四六の里文化推進協議会展示部門事務局「吉四六おへまの百笑塾」で吉四六話の伝承広報活動

②秋の祭典「ゴのつ 春の祭典「ゴのつ(野津地域の各公民館での文化祭 川登地区のひまわり畑 普現寺のもみじ祭等行事多彩 吉四六ランドでの吉四六祭、前日祭賑わいます)

③声かけ、仲間作り、感動を分かち合うこと

## 【藤原 正康】

①白杵市PTA連合会会長をさせて頂いております藤原です。

社会教育委員として2期目になりますが、どうか宜しくお願い致します。現在PTAと社会教育委員さんが共同で問題の解決に向けて活動できた良いのではないかと思います。

②吉四六ランド(ライトアップされた桜が水面に映り込む景色が幻想的で素敵だと思います)

③人間力

## 【三崎 明美】

①白杵市女性団体連絡会に所属しています。白杵市女性団体は、5団体が所属し各々の団体の活動を行いながら女性団体としての活動を行っています。主な活動は、男女参画講演会に研修として参加、女性の意識を高めるために他市の女性団体との交流、環境問題の学習や防災学習などに取り組んでいます。このような活動を通して社会教育委員として貢献できることを探っていきたくと考えています。

②秋の紅葉の時季の「白馬溪」(色鮮やかな紅葉に自然のすばらしさを感じる。)

③人の気持ちを取り戻すことと創造力のあること。

## 【山村 雅洋】

①人権問題に関わってきました。人権とは、簡単に言えば、誰もが人として幸せに生活できる権利です。しかし、自分の幸福のみを追求していると、他の人の幸福をないがしろにしてしまうことが多々あります。しかも近年では、グローバルな社会発展の一方で、格差が拡大されてきたこともあり、これまでに以上様な問題が生まれてきています。最近では耳や目を疑うような驚くべき出来事が起こっていますが、それらも無関係ではないように思います。様々な問題を、「自分には関係がありません」と捉えるのではなく、自分や自分の身近な人にも起こる可能性のあることとして考えてもらえよう、人権教室、人権啓発、人権相談等にささやかながら頑張っていきたいと思えます。

②戸室御霊社(大伴氏16代当主政親公の霊を祀る社)の、二つの鳥居の向こうに津久見島が見えるのですが、ゴールデンウィークの期間頃はそこから太陽が昇ります。

③人と人との、言葉を交わした、生きて血の通った交流。



# 社会教育委員の皆さんを紹介します

【吉賀 京子】

① こんにちは。38年間勤めた学校を退職した後、10年間教育関係の仕事をして参りました。

今は退職教職員の様々な団体(5団体)に所属し、会員同士が繋がりながら、親睦を深めたり、人権問題に取り組んだり、退職者の生活の現状から課題を捉え解決の方法を考えたりしています。

また、地域の小学校とも関わらせて頂き、児童の健全育成に微力ながら尽力致しております。「育成」と言いつつ、実際は児童から元気を頂いており、子どもたちの持つ力は大きいと改めて感じております。

私が社会教育に期待するのは、様々な経験をなさった様々な委員さんが、地域の皆さんと共に学ぶ姿です。その積み重ねがやがてうねりとなり、地域に浸透し、学校や家庭に影響を与え、人権や心の豊かき、地域愛などが広がっていくことだと思います。

私は女性として、まだまだ解放されていない現実を目にすることが多くあります。ジェンダーフリー、ダイバーシティ、LGBTQなどの言葉を耳にすることが多くなってきた昨今、「随分解放されてきたのでは」と仰る方もおられることと思います。そんな方々のお声も大切にしながら、私自身も皆様と共に学び合うことができればと思っています。

② 白馬溪(整美したらとても良い所。お伊勢参りの代わりに造られた素晴らしい景観。癒されたり、歴史を学んだりできる。)

③ 「人と人の繋がり」

結婚して佐志生地区に住むようになったある日、俄雨が降った。洗濯物が濡れていることを覚悟して帰宅すると、誰かが物干竿を軒下に入れていた。こんな体験は初めてで、驚いた。

「このような「繋がり」はAIでは絶対にできないことだ。」



- ① 自己紹介  
② 私がオススメする白杵のいいところとその理由  
③ AIに真似できない人間の良さととは？

## 教育長紹介

【安東雅幸教育長】

① 38年間教員として佐伯・白杵市に勤務。内11年間は県教育委員会及び国体局で、体育保健行政及び大分国体における競技力向上対策に従事。国体開会式の入場行進でドームに入った瞬間の観客の大歓声と男女総合優勝が決まった瞬間の感動は今でも鮮明に覚えている。退職後は教育委員・教育コーディネーターを1年勤め、令和2年から現職。大切に行っていることは「今日育」。我々教師は子供たちの少しの変化を見逃さず、ほめてあげたり叱ってあげたりすることで子供たちは大きく成長することを日々実感してきた。つまり、今日育てなければいけないことは、今日育てる教育、タイムイズマネーではなくタイムミッシングイズマネー(機を逃さない教育)を大切にしながら、白杵市学校教育指導方針に掲げる「白杵の未来をたくましく拓き、超スマート社会をしなやかに生き抜く白杵っ子の育成」に向け、教職員・保護者地域の方々との協働しながら取り組んでまいりたい。

② ◇海添川を左手に見ながら東海添から森木へ向かうランニングコース。◇白杵造船所から上浦・深江方面に向かうシーサイドコース。◇諏訪大橋から海洋科学高校・海辺小学校上を通り佐志生に抜ける林間コース。

体力の低下には逆らえないが、体育の教員として陸上競技の選手としてのプライドは失いたくないと思ひ、週1回のランニングは意地で続けている。森木コースは人に会うこともなく(タヌキ、鹿、イノシシ、サルには時々遭遇するが)季節を感じながら自分のペースで走ることができる。コース途中にぱっと現れる満開の桜は何よりのご褒美である。意地のランニングとは違い、週1回のバイクは楽しみの一つ。潮の香りや草木のにおい、季節の移り変わりを五感で感じながら走ることができるシーサイドコースと林間コースは最高です。

③ 喜びや悲しみを共有し、そして感動すること！

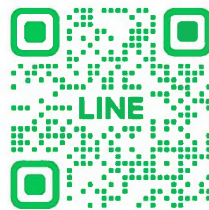
## 今年度の活動について

By 事務局

昨年度の協議で出された3つのキーワードを軸に活動を行いたいと考えています。

- 1) 周知 (社会教育課の事業や社会教育委員の活動について)  
市公式HP・ラインの活用
- 2) 互いを知る  
社会教育委員だよりを発行し、委員・事務局の日々の活動を情報交換します。会議の都度、近況報告をお伺いします。
- 3) 各地域振興協議会の活動を知る  
地域振興協議会担当部署の地域力創生課の皆さんにもご協力いただき、地域振興協議会についての研修会を予定しています。

どうぞ一年間、よろしくお願ひします



(左) 市公式ライン  
(右上) 地域力創生課フェイスブック  
(右下) 地域力創生課インスタグラム

